

5・6年で習得させたい「物語の読みの観点」

<p>物語の構成</p>	<p>「基本4場面構成」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 設定<前ばなし> 2 展開<出来事の展開> 3 山場<クライマックス> 4 結末<あとばなし> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「クライマックス場面の読みの重要性」 ○物語全体を通して、あることが最も大きく変わる場所 ・一番大きく変わったものは、何だろう ・それは、「どのように」変わったのだろうか ・それは、「どうして」変わったのだろうか</p> </div> <p>「ファンタジー物語の基本構成」 ・「現実の世界」→「ふしぎな世界」(非現実)→「現実の世界」</p>
<p>「時」の設定</p>	<p>「物語全体の『時』の設定」 ・どのくらいの「時」にわたる出来事か (年代、年、季節、月、一日)</p>
<p>「場」の設定</p>	<p>「『場』と出来事の展開の対応」 ・出来事の展開に応じた、人物の「場」の移動</p>
<p>「人物」</p>	<p>「『人物』関係」 ・「中心人物」の変容(「山場」場面における最も大きな変容) ・「中心人物」と「重要人物」のかかわり(人物関係図) ・場面の展開に応じた、「中心人物」と「重要人物」のかかわりの変容</p> <p>「『人物』像」 ・主な人物は、どんな人物か (行動、表情、会話に注目・・・心情・情景描写)</p>
<p>あらすじ</p>	<p>「あらすじ」 ・基本4場面の構成を踏まえた短い文章。特に、クライマックス場面におけるあることの大きな変化」を中心にまとめる。</p>
<p>視 点</p>	<p>「物語の語り手」 「語り手」(話者)＝物語全体の語りを進める人(一人称・三人称視点) ・どの人物に寄り添い、誰の心の中を描きつつ物語を語り進めているか。</p>
<p>(主 題)</p>	<p>・文章を読んで、強く思ったり感じたりしたこと ・物語が自分に最も強く語りかけてきたことを考える (根拠を考えることを大切に)</p>
<p>上記以外の重要な学習</p>	<p>朗読＝物語や詩などを、自分の感じた事や考えたことが表れるように声に出して読むこと 物語の「語り」＝情景や人物の心情など、想像したことが表れるように物語などを暗唱すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声の大きさ、声の高さ、読む速さ、強調するところ、間の取り方に注意する。 ・場面や人物によって口調や表情を変える。 ・視線の配り方 ・必要に応じて身ぶり・手ぶりを交える <p>「伝記」＝ある人物の生き方や一生などについて事実をもとに書かれた文章。 「古文」＝古くから今日まで、長い間親しまれてきた文章。 「漢文」＝昔の中国で書き表された文。現在使っている言葉の中にも、昔の中国で生まれた言葉が生きている。(故事成語など)</p>